

羅針盤-卒業記念号-

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL
教職をめざす学生・卒業生のために

COMPASS

第132号 2021.3.13(土)発行
関西外国語大学
教職教育センター

お祝いの言葉「卒業・進級おめでとう」

教職にかかわる先生方より、みなさんへお言葉をいただきました。
今日のハシの日にみなさんへ。

「つながりを創る」

～広い視野をもって～

英語キャリア学部（小学校教員コース） 教授 浦嶋敏之

みなさん、ご卒業おめでとうございます！

先日、火星着陸に成功した探査機「Perseverance」（米国）から鮮明な映像が地球に届きました。昨年暮れには、「はやぶさ2」（日本）が小惑星「リュウグウ」から岩石サンプルを持ち帰りました。大空を見上げるにつけ、遙か彼方の宇宙が身近に感じた1年でした。

一方、地球（世界）に視線を移すと、“フィジカル・ディスタンス”等々の感染対策で、身近な人との距離を感じた1年でもありました。親しい人に会えない、故郷に帰れない中でチャレンジした教採。孤独に押しつぶされそうになりながらも、仲間と励まし合いながら“やり切った”みなさんを、心からリスペクトします。今年ほど、仲間とのつながりの大切さを実感した1年はなかったでしょう。まさに“Perseverance”（忍耐・根気強さ）です。

先生の仕事（教育の営み）は、人とのつながりを通して子どもの生き方を創る仕事です。子どもとの信頼関係を築き仲間の絆を深めながら、人ひとりの未来への道筋を創っていくのです。そのためには、子ども達を受け止める広い視野や多様な価値観を持つことが大切です。目の前の現象から真実を見極めること、目標に向かって努力し続けること、そして時には大空を見上げることも忘れないでください。

ふと足元に目をやると、チューリップの芽が土を押し上げていました。みんな、命をつないでいるのですね。

チューリップの花言葉は、“思いやり”です。

“GO FOR it!”



我が家のチューリップ

「啐啄同時」

外国語学部 教授 玉井久之

ご卒業おめでとうございます。春から教壇に立つみなさんに、私が大切にしている言葉を贈りたいと思います。

仏教に「啐啄同時」という言葉があります。「啐」とは、ひな鳥が孵化するときに、卵の殻を内側から突き破ろうとする動作のことです。また「啄」とは、親鳥がこのようなひな鳥の動作を見て、外から卵を突いてひな鳥の誕生を助けようとする動作のことです（ちなみにキツツキを漢字で啄木鳥と書きます）。つまり「啐啄同時」とは、生まれゆくとするひな鳥の意志と、それを助けようとする親鳥の意志がかみ合っ初めて「誕生」が成就することを表わしています。両者のタイミングが合うことが大切で、「啄」が遅すぎたり、逆に早すぎても「誕生」につながらないのでしょう。

「啐啄同時」は教育の本質を突く言葉です。親鳥がすべての卵を温めるように、教員は普段から生徒全員に関心を払っていなければなりません。また生徒が「学んでいこう」「伸びていこう」とする「啐」のタイミングも、その回数も、その方向性も生徒によりまちまちでしょう。しかしどの生徒にもその生徒独自の「啐」があり、それを適格に捕らえ、「啄」、つまり適切な指導を与えることが生徒の成長につながるのだと思います。

教室に入る前に、気を落ち着かせるためにも、「啐啄同時」とつぶやいてみてください。健闘を祈ります。



“肌のぬくもりの関係”

英語キャリア学部 教授 坂本暢章

2020年は人類の歴史において一つの転換点の年として記憶されるかもしれません。核兵器でもシンギュラリティでもなく、わずか1万分の1mmのウイルスによって私たちの生活は根底から覆されてしまいました。私たちは今、これまでの“当たり前”を1から考え直す必要性に迫られているのです。

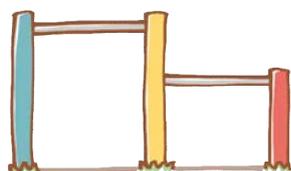
その中で今強く感じるのは、人には“肌のぬくもりの関係”が必要だということです。

ICT環境さえあれば、必要十分なコミュニケーションが可能な中でも、人は $+ \alpha$ のつながりを求めています。様々なオンライン〇〇が生み出される中で、それだけでは埋めきれない“何か”が確かにあるのだと感ずるのです。

「教育」において、小中高で少なからぬリスクを抱えつつも対面授業が復活しているのは、そうではなければ成立しない“学びという営み”の本質が、そこにあるからだと考えます。

「学校教育」とは、知識や技術を伝達するだけではありません。その場でその過程で感じられる、教員と子ども達、又は子ども達どうしの“肌のぬくもりの関係”。そして、その中で成立する“学び”。これが「学校教育」の大きな価値でもあるのです。

4月から教壇に立つ皆さん。どうか、その“暖かさ”を感じられる教員になってください。



急速に変化する社会へ飛び出すあなたへ

外国語学部 教授 梶田純子

みなさん、ご卒業おめでとうございます。言うまでもなく、大学生活最後の1年は、すっかり世の中が変化し、戸惑いと不安の毎日であったと推察申し上げます。しかし、それはあなただけでなく、ほぼ世界中の人が、同じ思いで生きた日々だったことも忘れないでください。

このコロナ禍とその後は、新たな産業革命とも言われています。ポストコロナ期の世界は、一気にAIやICT化が進むでしょう。しかし、デジタル、機械が全てではないですね。この1年、人と会って話すことを、どれほど欲したでしょう。また、音楽、ダンス、映画、スポーツなど、一

見 ICT の真逆にあるような分野が、私たちの心を潤していたかも知りました。では、私たちにできることは、何でしょうか。

あなたたちがこれから飛び出す社会には、この1年よりもっと困難が待ち受けているかも知れません。しかし、人は強いものです。「これができない」ではなく、「何ができるか」「どうやれば、できるか」を考えていきましょう。それを次世代の人たちに伝えてください。デジタル化に進む社会だからこそ、人の叡智が必要なのです。是非、希望を持ち、進んでください。数千年も前から、人はきっと同じようなことを考え、悩み生きたのだと思いますから。

あなたなら、きっと素晴らしい人生、教員生活を送ることができると信じています。



新しい世界には好奇心をもって臨みましょう！

英語キャリア学部 教授 森田健宏

みなさん、ご卒業おめでとうございます！

本来ならば、笑顔いっぱい、あるいは思いっきり泣いて、みなさんと語り合いながら晴れの門出を祝福したかったのですが、このような状況ですので、マスクの中で口角をいっぱい上げて心から喜んでいたいと思います。

さて、この状況の中で、教育の世界は想定よりも早く、著しく変化していきました。みなさんが受講したオンライン授業もその一つです。ZOOM によるリアルタイム授業や、動画視聴によるオンデマンド授業など、ネットワークを介してどこでも学べる環境が急速に普及していきました。一方、小学校や中学校でも一人一台の端末を使用して学ぶための ICT 機器が順次導入され、教育現場の先生方も、多忙な時間の中、効果的な活用法を考えたり、研修を受けたりしていらっしゃいます。また、みなさんの多くが使用しているスマートフォンの世界でも、新しいアプリが次々に登場し、楽しく使えるものについては、どんどん使いこなしていることと思います。そして、これからの時代も、さらに新しいメディアをはじめとした教育環境や、指導のあり方、教育の制度などが様々に変化していくことと思います。みなさんには、この関西外大で学んできた多様で柔軟な考え方を活かして、さらに好奇心をもって、これからの社会で活躍してほしいと願っています。そして、わからなかったり、困ったりしたときには、ためらわずに「助けて」と仲間に言えること、さらにお互い「助け合うこと」を大切

にしてください。それが新しい時代の中で、私達が共に生きていく上で最も大切なことだと思います。それでは、みなさん、また必ずお会いしましょうね！



力の結集

英語キャリア学部 教授 山下 吉信

ご卒業おめでとうございます。学生生活はいかがだったでしょうか。きっと充実した時間だったと思います。

さて、「水の力」を考えたことはありますか。一滴の水は繰り返すことによって、岩に穴をあけるといいます。ひとりでは何もできないと思うときがあるかもしれませんが「一滴の水」の力はすごいものです。「わたしたちは大きな海のたった一滴の水にすぎないかもしれませんが、しかし、その一滴の水があつまって大きな海となるのです。」これはマザーテレサの言葉です。一滴の水の力を結集すると海のごとくスケールの大きな力を生み出すことを、あなたたちは知りました。それを教えてくれたのはこの学び舎で集った仲間たちです。「一人ひとりにはちっぽけな存在。でも、貴重な存在」なのです。

「一人の力は微力で、何をやっても同じだ。」ではなく実行しましょう。始めなければ、どんどん夢は遠のいていくだけです。

しかし、力の結集はいつもいいことをもたらすとは限りません。一滴の水の集まりは、突然その姿を変え、我々に襲いかかることもあります。その時、人は自然の猛威に震え上がり、ほとんどなすすべもなく時間を過ごすだけなのです。

力の結集はその方向を間違うと、とんでもないことを引き起こします。決して、力の方向を見失わないようにしてください。

周りを見てください。素敵な仲間がいます。そしてあなたたちには、自分が必要とされ、頼りにされている場所、自分で自分のよさを認め「わたしはできるんだ」という気持ちが高ぶる場所があります。どうぞここで得たかけがえのない「宝もの」をいつまでも大切に大きく羽ばたいてください。あなたたちと出会えてよかった。ありがとう。



新年度を迎えるにあたって

外国語学部 准教授 川村 悟

卒業生および在学生のみなさん、ご卒業、ご進級、おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスの流行に伴い、社会情勢の変化が激しかったため、対応に苦慮された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。多くの大学では遠隔授業を余儀なくされ、教職課程にも少なからず影響がありました。大学における学習や実習などが思うように進まず、ストレスを感じた方もいらしたと思います。

近年まれに見る変化の最中、強く感じたことがあります。ダーウィンは進化論の中で、強いものが生き残るのではなく、変化できるものが生き残ると主張しています。かくいう私も突然の遠隔授業の準備等に戸惑い、不安に感じることもありました。しかし、このような時こそ、前を向いて新たな環境に臨み、変化に積極的に適応するべきではないかと思ひ直すようになりました。

卒業生のみなさんはそれぞれの進路に進み、新たな挑戦に取り組むことでしょう。在学生のみなさんは引き続き学業に励まねばなりません。社会情勢の変化に関わらず、時計の針は進んでいきます。先行きが不透明な状況においても、変化に対して前向きに対応するとともに、自身がなすべきことを着実に実行されることを期待します。



ピンチはチャンス

短期大学部 教授 藤林富郎



ご卒業、ご進級、おめでとうございます。皆さんと出会えたこと、共に成長できたことを心から喜び感謝しています。ありがとうございました。

さて、この一年間、私たちは皆、新型コロナという共通の敵と闘って来ました。その間、孤独にも耐え、いつこんな生活がおわるの？と、毎日考え続けていました。

その一方で、ニューノーマルを追求し、励まし合いました。本学でも、非常事態に適應すべく、春学期はオンラインで、秋学期にはオンライン、対面、そのハイブリッド型授業と、試行錯誤を繰り返してきました。

今、新しい生き方が見えそうです。ダーウィンの進化論の「最も強いものが生き残るのではない、最も変化できたものが生き残るのである」という”Survival of the fittest”を実感できます。

未体験のピンチが、持続可能な、新しい生活スタイルを見出すチャンスだったのです。実際、この一年間で二酸化炭素の排出量が30パーセント減ったという報告があります。菌、温暖化、食料不足や、水不足にも、人類は種の存続をかけて立ち向かわなければなりません。

「過去は自信、未来は希望、現在は勇気」と、我が尊敬するA先生がおっしゃるように、外大での学生生活は皆さんにとって今や過去に、且つ、自信になり、皆さんの人生を支えてくれます。

”Be a person of the true grit.” ”Be resilient.” ”Never give up.”を餞としてお贈りします。人生、「七転び八起き」です。いつも笑顔でお過ごしください！最後までお付き合い、ありがとうございました。

Appendix: “You can’t please everyone,” There is only one way to avoid criticism: do nothing, say nothing, and be nothing. アリストテレス



慈しみの心を持ち、苦境を力強く生きる先生になってください

短期大学部 准教授 村上裕美

2020年度は、世界的なコロナ感染拡大の影響で、暗い一年になりました。多くの人々の命が奪われ、経済的打撃も大きく、社会が一変しました。このような状況下で各種学校でのボランティア活動や教育実習が実現しなかった方々や、教員採用試験で結果が出せなかった方々と教職課程の皆さんにとって苦しい1年となりました。この1年をどの様に過ごされましたか。皆さんが苦しい思いをしている同時期に、コロナ感染防止対策のため、多くの保護者が仕事を失い、自宅学習のため、生徒・児童は自宅で過ごす時間が増え、交友関係も築けない状況が続きました。皆さんは、一人の教員としてこの状況にどのように対応できるか考えて過ごされたと思います。社会が混乱しているとき、その混乱が家庭生活や学校生活に影響するとき、生徒・児童のよりどころとなれるのが教師であってほしいと考えます。特に、コロナに感染した家庭に対する心無い態度や言葉が問題視されました。教員として、大変な時こそ慈しみあい、支え合い、力強く前向きに生きる姿勢を示せる人になってください。きっとその姿が次の世代に受け継がれると信じています。教育は次世代を担う役割があることを念頭に置いて力を尽くしてください。応援しています。

こどもたちと時間を自らの手で楽しいものにしよう

英語キャリア学部 教授 塚田泰彦

厳しいコロナ禍のトンネルをいま潜り抜けようとしています。

本学での最後のこの1年間がどのようなかたちで卒業生の皆さんの将来を支えていくのでしょうか。繰り返されたオンラインでの学びの体験や教室でクラスメートと一緒に学ぶことができなかったキャンパスの思い出、世界中がこれまでに経験したことがない教育の現実、まだまだストレスや不安からは解放されない世界の不透明な時間の向こうへといま出発する皆さんに、その若い力を信じ、心からエールを送ります。

変化の激しいネット社会が次々に要請する教育改革のスローガンが大切な教育の本質まで覆い隠しかねないことはほとんどの人が気にかけていることです。そのことはスマホから手が離せない皆さんもよくわかっていることでしょう。

いつの時代もその制約のもとで、しかし瑞々しい人間としての本質に支えられた新しい世代の成長の種を、彼らの「未来」として守り育てることが教師の仕事です。教職に就くと様々な外部からの要請に振り回されることになるでしょう。しかし、気負うことなく一人の人間として、素直な心を大切にして、個性豊かなこどもたちと一緒に一つ一つ誠実に取り組んで行って欲しいと思います。二の足を踏むことがあっても、知性を鍛えることで、必ず次の局面へと事は進んでいくものです。その過程で皆さんは少しずつ成長したと思える時間を重ねていくことになります。

こどもたちと共にある時間を皆さんが自らの手で楽しいものにできるよう、切に願っています。



今こそ「不易と流行」の意味を噛みしめて・・・

英語キャリア学部 教授 新坊 昌弘

ご卒業おめでとうございます

かつてSF小説や映画の中で出会っていたことが、現実のものとなってしまいました。そう、COVID-19という未知のウイルスと人類の攻防です。人類は、生活様式を変容させながら、英知を結集し異例の速さでワクチンを開発しました。しかし、ウイルスも北半球の夏を南半球の冬で乗り切り、強かに自

らを変異させて対抗してきます。ふと、チャールズ・ダーウィンが「種の起源」の中で言った「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。」という言葉が頭を過ります。そう考えると、この COVID-19 も大した奴だなあ、と思えてきますね。この先は、after corona の世界がやって来るのか、それとも、まだまだ with corona の世界が続くのか、誰も分からない予想不可能なシナリオが用意されているのでしょうか。

さて、そんな中、いよいよ教職に就かれる皆さん、学校教育も corona 禍において急激な変化の波に晒されています。道徳の教科化、小学校での教科英語、そして「主体的・対話的で深い学び」が始まったばかりですが、この間、学校では非接触を原則とした教育活動や学校生活への制約、児童一人一台のタブレットの配付が進みました。更に、高学年の一部教科における教科担任制の導入やデジタル教科書の使用が検討され、「個別・最適化された教育」という考え方も示されています。「それって何?」、「どうすればいいの?」、「どう活用するの?」、これらの変化は、初任者となる皆さんのみならず教職経験豊富な先生方にとっても未知との遭遇なのです。そう、今起こっている教育改革の動きは、これまでに例を見ない急激なもの、と言われているのです。

教育では、よく「不易と流行」という言葉を聞きます。これは、松尾芭蕉の理念で「永遠に変わらないことを忘れず、新しみや変化も同様に取り入れて行くこと」という意味で、「温故知新」にも通じる考え方です。学校現場は、これからも様々な新たな課題の対応に迫られることになるでしょう。既存の枠組みでは解決出来ず、新たな形を生み出していかなければならぬ場面に幾度となく直面することでしょう。

皆さんには、教育の本質を忘れず、知恵を絞って知恵を寄せ合い、新たな世界に適応する新たな教育を生み出していく担い手となってくれることを期待しています。



出合いや体験の意味づけ

短期大学部 准教授 堅田利明

ご卒業おめでとうございます。

いま皆さんの心の景色には、どのようなものが観えているのでしょうか。その景色はこれまでも、そして、これからも輪郭を変え、色彩が変容し、聴こえてくる音色や感触も違って行くことでしょう。

happening ということばがあります。想定外・不確実・偶然といった意味があり、時には不幸をもたらすこともあります。語源は **hampa** (たまに起こる幸運) です。時には新たなものを生み、幸運をもたらすこともあります。皆さんは、これまでにあったどんな出来事を思い起こされるのでしょうか。

良かったことですか、良くなかったことですか、その両方ですか。そうした出来事をご自身の身にどうして起こったのか、その出来事をどのように受け止めれば良いのかと悩んだことはありましたか。どのように受け止めるのか、それを「意味付ける」ということばで言い換えることができます。特に良くなかったこと、思い出したくもないような出来事をどう意味づけていくのか。それは後の人生に多大な影響を及ぼします。意味づけは時を経て変化していきます。精神的成長によって受け止め方が変わっていくからです。

これまでの出来事や出会い、体験したことの意味をご自身に問いながら、人生に彩を重ねていかれることを願います。これからの一歩に期待しています。



領域展開！ 一卒業慶祝の呼吸一

英語キャリア学部 教授 村上明子

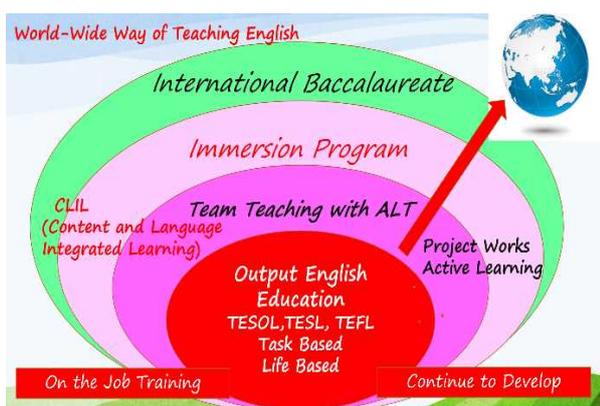
みなさん、ご卒業おめでとうございます。

母と父方の祖父が教員だったので、子どものころから何となく、私も将来は教員になるのかなあと思っていました。教員の古手は長いスパンで子どもを捉えることが多いようで、私は失敗の多い子どもでしたが、母は常に楽観視していました。いつだったか「三日、三月、三年。三年続いたら一生続けられる。」と母がいったことがあります。「なんだ、石の上にも三年か」と辛抱の話だと思って聞き流していましたが、最近『鬼滅の刃』のアニメを見に行き、ふと思ったことがあります。なるほど、毎日が大勢の仲間と一緒に成し遂げる修行の日々だとするならば、三日、三月、三年で、できることもわかることも見える世界も大きく激しく変わっていくのだろうか、と。長いスパンで捉えるならば、人の一生とはなんと興味深い展開の連続なのでしょう。皆さんはこれから、それを自身の物語として、教え子たちの物語として練り上げていくのですね。

領域展開！皆さんの未来は縦横に広々と拓けています。皆さんの生きていく、これからの新しい場所が、次々と進展し続けていくことを願ってやみません。

Congratulation on your graduation!
“Contribute on Drastic Change for English Education!”
“Make much of Output English Education!”
“Keep Diversity, Flexibility and Creativity”
“Be conscious of Visualizing”
“Keep it Real” (自分らしく生きる)

英語国際学部 教授 西村孝彦



Congratulation on your graduation!

I am sure you had great wonderful experiences in Kansaigaidai and met many persons here and in the world for your future. Keep your great memories and now is your time to take action with “Sense of Diversity, Flexibility and Creativity” you’ve got in Kansaigaidai for your future.

In Japan we should have drastic change for English education. It is necessary for us to get rid of “Grammar Translation Method” and to make much of “Output English Education for presentation”. To get our drastic change, from my point of view, first, all we have to do is to “Be conscious of Visualizing”. In the field of TESL, TEFL and TESOL all over the world, people try to study for expressing their own opinions in English through visualizing. Japanese Ministry Education also hopes you to put the TESOL strategies into the English education in Japan. It prepares a lot of oversea programs for English teachers of young generation. I hope you will contribute on English education with your world-wide point of view.

Finally, keep my mottoes in your mind. Congratulation on your graduation!

- A: Advance (Step forward anytime and anywhere)
- B: Believe in yourself
- C: Continue to challenge
- D: Don’t compare with others. Don’t be afraid of making mistakes
- E: Encourage

Whatever you do, just keep it real. (常に自分らしく)

Congratulation on your graduation! I wish you good luck.



教職をめざすみなさんへ 卒業、おめでとうございます！

関西外国語大学 短期大学部 教授 明石一朗

教職をめざすみなさん、卒業、おめでとうございます！

本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大と、これに伴う未曾有の困難の中で大学においてもオンライン授業等、多くの困難や課題に直面してきました。それ故、若い世代のみなさんが、この困難を共有し乗り越え、地球的視野でコロナ禍後の新しい社会の創造を担う教育の道に進まれることを大変心強く思います。

教育は子どもの「人格の完成をめざす」とされますが、その教育を担う教員の資質として、①豊かな人間性②実践的な専門性③開かれた社会性が求められます。では、具体的にはどういうことでしょうか。例えば、

- ・一人の大人として社会的常識が備わり人望があること
 - ・教育に対する情熱にあふれ専門的知識が豊かであること
 - ・子どもの気持ちや感情を敏感に感じ取りコミュニケーション力が高いこと
- などでしょうか。

一言で言えば、「明るく元気で、優しくも厳しく、誰にも公平で、知的な先生」です。

ここ数年、学校現場では新旧教職員の入れ替わり期を迎え、毎年多くの新しい教員が学校に来ます。今ほど、教員の使命感と情熱・専門性に加えて、その人の人間性が求められている時はありません。子どもにとって、最大の教育環境は先生存在であると言えます。みなさんの好奇心と探究心が子どもの夢や将来の希望を育むものとなるのです。

現在進行形のコロナ禍ではありますが、こういう状況だからこそ常に明日への希望と展望を確かにして歩んでほしいと願います。

最後に、サミュエル・ウルマンは「青春」について次のように語っています。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。」

※サミュエル・ウルマン (Samuel Ullman, 1840年～1924年)、アメリカの詩人・人道主義者「青春の詩」から。



卒業生からのメッセージ

小コースのみんな、お世話になった先生方、4年間ありがとうございました！楽しかったです～！ 米

最後の年は全く友達に会えなかったけど、色々な地域の友達ができて、いろんなことを学べて通学時間も含めて全部楽しかった～！！！！！！！！ みちよ

「きっと終わりは始まりの唄」卒業と同時に新たな場所での新生活を始めます。今まで自分を教師へと成長させてくれた人々を忘れず、“Better than Before”の精神を胸に成長し続けます。 後藤広樹

教職を通じて出会えた人たちは皆んな高い志を持っていて常に良い影響を受けることができ、環境に恵まれ感謝しています！これからは生徒に英語って楽しいと思ってもらえるような授業ができる先生を目指します！ Blossom

ご卒業及び教員免許状の取得、誠におめでとうございます。本学で得た学びを基礎とし、皆様一人ひとりの目標の実現をご祈念するとともに、益々のご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げます。 H.S

オンラインで何度も教採対策をしてくださってありがとうございました。これからは教員として“Better than before”していきます！ ぐっち

4年間の学びと経験すべてが私の力となっています。授業やボランティア等でお世話になった皆さん、先生方、本当にありがとうございました。 吉田美笛

諦めたら、、、そこで、、、、、、、、ギブアップだよ！！！！ ペつを

Keep trying something new. Ma!





ご卒業おめでとうございます。

今年度は予測していなかった事態となり、みなさんのお姿を見る機会が少なくはありましたが、みなさんが無事に卒業の日を迎えることができ、嬉しく思います。

4月からはよいよ新社会人ですね。壁にぶつかることもあるかもしれませんが、それらの経験も素敵な財産となると思います。無駄なことは何ひとつないので、真摯に向き合ってください。教職教育センターの職員一同、みなさんをいつまでも応援しています！

またいつでも、教職教育センターに遊びにきてくださいね。

教職教育センター一同

